



明治末期の吉原大門
(提供: ジャパンアーカイブズ)

江戸東京研究センター・シンポジウム

大正・昭和の吉原遊廓

江戸東京研究センターでは昨年春、戦前の遊廓を回想した資料の寄贈を受けました。著者は根津、洲崎、吉原へと移転した妓楼の主人であった人物で、明治末から昭和初期にかけての遊廓をめぐる貴重な記録の宝庫であることがわかってきました。本シンポジウムはその内容の一端を、近代吉原についての調査を進めている安原眞琴さんに読み解いてもらい、その時代の吉原を知る、また聞き伝えている「中」の方々にお話をうかがい、大正・昭和の吉原について多角的に考えようとする企画です。

主催: 法政大学江戸東京研究センター「江戸東京の『ユニークさ』」プロジェクト

【プログラム】

10:00~
映画上映
「最後の吉原芸者四代目みな子姐さん吉原最後の証言記録」

-----昼休み-----

13:00~(50分)
安原眞琴(立教大学, 法政大学)
「吉原遊廓の「中の人」の手記-成八幡の旦那・中野幸吉」

14:00~(50分)
吉原達雄(吉原神社総代)
「生き証人にきく-吉原の昭和史」(聞き手 安原眞琴)

15:00~(30分)
不破利郎(吉原商店会会長)
「私が暮らした吉原」

15:30~(10分)
田中優子(法政大学江戸東京研究センター特任教授)
コメント

15:50~17:00
登壇者全員によるトークセッション(司会・安原眞琴)

2022年3月11日(金)10時~17時
法政大学市ヶ谷キャンパスより
オンライン配信

参加無料
事前申込が必要です

オンラインの接続先は事前申込を
いただいた方のみにご連絡します。



事前申込: <https://forms.gle/QstPjX3ejWqgMWN29>

ETOS 江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies

法政大学
HOSEI University

法政大学江戸東京研究センター: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp 03-3264-9682